

# すいせん



発行者 須崎協議会 文化厚生部  
下田市須崎一七九番地  
須崎漁民会館内  
電話 0558(22)8056

題字: 梅田弥祐先生

## 須崎区協議会総会のお知らせ

令和2年度の通常総会は3月28日に行う予定です。然しながら連日ニュースでは全国のコロナ禍情報報道され未だ収束の見通しが立っていません。県下でも伊豆地域でも同様にクラスターが発生している状況を考えると、まだまだ集会等の3密状態は避けるべき、自粛するべきとの意見も多数あります。

この様な事から今期の総会開催も前年同様に、集会を避け書面決議で実施する事と致しました。須崎区協議会総会議案書に関する資料が整い次第、組長会にお願いをし、全戸へ議案書の配布と同意書の回収について、各組長にお願いを致しました。区民の皆様には、何卒ご理解とご協力をお願いします。

## 協議会議員 退任の挨拶

区長代理 山本 三千夫

余寒厳しき折りながら突然、風が和らぎボカボカとした陽気に春の足音がきこえてくるようです。

さて、我々協議会はこの3月で2年の任期も終了となり、私も区長代理の任を辞することとなりました。区民の皆様にはさぞ不満をお持ちの方もいたことと思いますが、温かく見守って下さりありがとうございます。

スタート時メンバーの内、区長と会計が経験者で、他は私を含め全員未経験者でした。なので当初は暗中模索の状態でしたが、前前任者、経験者に訊いて教えてもらい、又、漁民会館の小沢さんにアドバイスをもらいながらやってまいりました。

初年度は4月に第一回の協議会会合を開いたのを皮切りに、下田市区長連絡協議会に出席、須崎区関係団体合同会議、

祭典関係団体合同会議、急傾斜地パトロール点検、夏になると九十浜のオーブン、津島神社例大祭と両神社の秋の例大祭と続きます。道作りの日は協議会では全員で西が丘の草刈りを行いました。

12月に入ると県下一斉の防災訓練、水仙まつり等と続き、年末には初日の出の来場者のために照明設備を設置しました。元旦には暗いうちからアルバイトの方々と一緒に早朝の来場者と車の整理を行ないます。

1年程やっていると、年間の工程も大体わかってくる、次年度はこうしようという方が良いんじゃないか、これはもつと前に準備をした方がよいのではと、いろいろ考えていました。しかし新年に入るとコロナの影響で総会も中止、書面決議となり、2年度はコロナ過に振り回される1年になりました。

爪木駐車場の閉鎖、さらに残念な事に夏の津島神社の祭りも中止と決定しました。夏の九十浜海水浴場は開くことになりましたが、市役所とも色々な事でずいぶん協議をし、砂浜にロープを張り、区画を設けることによりソーシャルディスタンスを確保し、売店では店員がマスクをしてお客様に対応するという、少し異常な営業になりました。

とすべての駐車場で体温のチェックを行いました。アルバイトの方々や関係者の皆様は大変だったと思いますが、おかげさまで感染者も出さずに無事終えることができました。今年の水仙まつりも無事終わる事ができました。ただ令和元年は、大型台風が日本列島を直撃し須崎もその影響を受けました。越瀬の弁天堂の屋根が一部飛ばされ、九十浜の売店の屋根もトタンが3枚ほど飛ばされ、これは自分達で修理しました。爪木の管理棟なども修理が必要な状態になりました。

ご冥福をお祈りいたします。ある時協議会の先輩から、こう言われたことがあります。「協議会は、須崎の公的機関であり、協議会員は私利私欲のために活動してはならない。」と。2年間協議会をやってきて少しその言葉の意味が分かった気がします。須崎で暮らす以上は少なからずこの土地の自然の恩恵を受けています。一人々が須崎の自然や文化を大事にし、人に対する思いやりを持って多少の不便、不自由を我慢をする。このことが、須崎が仮に財政的に困窮しても豊かになっても、変わらず美しい自然と恵まれた海の恵みに満たされた、心豊かな須崎であり続ける事だと思えます。

会計 岸田 洋憲

最後にこの2年間、我々に力をお貸しくださった方々、貴重な資料を貸して下さった方々、過去の当時の生のお話を語ってくれた方々、また励ましと重要なアドバイスを与えてくれた方々に心より感謝いたします。そして共に協議会を運営してきた仲間へ感謝と御礼を申し上げます。

## 区政2年間の総括

須崎区長 土屋 磯雄

今期の協議会は4月平成31年、5月令和元年となり新元号の御代替りを迎えた。令和の御代の平安を祈りましょう。

しかしながら中国発のコロナウイルス禍に依り世界はパンデミック、国内では3密が叫ばれ各種行事も中止になった。須崎区でも総会、お祭り、文化芸術祭、さわやかウォークなど行事は中止せざるを得ない状態であった。区民の皆様には区政運営には御理解を賜り衷心よりお礼を申し上げます。また協議会のスタッフ、区長代理以下各議員の協力もあり大過なく運営が出来ましたことも併せて感謝とお礼を申し上げます。

令和2年度の通常総会は3月28日に行う予定です。然しながら連日ニュースでは全国のコロナ禍情報報道され未だ収束の見通しが立っていません。県下でも伊豆地域でも同様にクラスターが発生している状況を考えると、まだまだ集会等の3密状態は避けるべき、自粛するべきとの意見も多数あります。

があり、立候補者には供託金が必要(すいせん10月号でお知らせ)となりました。本年度は黒崎の杭の確認と表示をしました。防災関係では本年度各種訓練は中止になる事もありました。区では坂条の防災倉庫内の備品棚卸の作成、緊急時の水や保存食料450食分を補充、また市防災の補助金を利用し昨年度はトランシーバーを購入、本年度は救急用具セット2箱、救急箱20人用2セット、市からはサニタリー緊急トイレ及び小型発電機の寄贈がありました。文化面では今年度は区の文化行事はコロナ禍の中中止となり残念でした。月間区報「すいせん」、須崎文集「磯雄」第6集の発行などありましたが文化面の活動は不振でした。

観光関係は海の家、水仙まつりが主な事業です。コロナ禍がなければ予定ノルマは達成できましたが、健康な状態を維持し、海水浴客にはタトゥー、飲酒喫煙、大音量の自粛など協力を願った健全化への成果もあり、いけんだ浜の開設も効果はあった。水仙まつりもGoToトラベル中止が無ければ黒字経営になったと思われ、眺望を阻害する篠竹や雑木の伐採をしました。爪木の景色も見え方が変わり素晴らしくなり観光客には好評でした。

土木部では組の再編会議も行いましたが、組の同意は得られず現状のままとなりました。旧須崎保育園存続の問題は結論が出せませんでした。また工事など小さな区民要望問題には取り組みました。猪駆除の会では小人数で活動してはいますが、猪の駆除には農業者の理解のため頑張ってください。ノラ猫対策には県・市及び市ネコサポの皆さんとの協力を得て3回に亘り不妊手術を行ない約98匹のネコを実施しました。子猫を産まなくなるの環境になると思いますが、なお奇様な方よりネコサポに10万円の寄付金がありました。

須崎乙女桜の会は水仙まつりと桜花のコラボを考え、2人の花咲か爺さんが始めたものです。伊豆新聞にも掲載されましたが河津桜と違う桜として認定されました。近年幼木も少し育ち花が咲く様になりました。この会にも10万円の御寄付がありました。会では原木の看板や肥料などに使わせて頂きます。皆さんの寄付はすいせんにも須崎の方からです。皆さんの寄付はすいせんにも須崎の方からです。

持ち堪えることができ幸いでした。3月以降もコロナ禍は続きますが、通常営業ができることを期待して会計の報告と致します。また協議会の方々、区民の皆様への御協力により、この2年間を無事に務めることができました事に感謝申し上げます。

観光経済部長 森 健太郎  
部員 森 喜作  
田中 一好  
小澤 貴一郎

観光部長の任期が終了しました。月並みの表現ですがあつという間の2年間で、山本三千夫さん、小川正弘さん、私の3人で、土屋磯雄さんの自宅に区長就任依頼に伺ったのがこの前の気がします。実際に区長を引き受けてくれた際に、みなで安堵した事を思い出します。しかし、私にとって思いがけなかったのは、「観光部長はお前がやれ」の一言でした。突然の申し出であったが、磯雄さんには、半ば泣き通して区長をお願いした手前、断る事はできませんでした。須崎区も少子高齢化から協議会の参加年齢も若年化していくだろうから、私自身が勤め人でも観光部長ができるのだと、そのモデルケースにでもなればと考えました。しかし、観光部長の役割については、その時点では前任の協議会メンバーからは「大変である」としか聞かされておらず、不安しかなかったです。実際に仕事内容について引継ぎを受けましたが、予想以上に多くの仕事をしなければならず大変な内容でした。しかし、私の不安を払拭してくれたのが前任者の観光部長であった長友靖尚さんでした。引継ぎでは分からないことについて、実際に現場にも赴き懇切丁寧に説明してくれました。また、何度も私に連絡をくれた様々なアドバイスをしてくれました。この時の助けが非常に大きな力となり、無事に1年目を終えることができました。2年目を飛躍の年にと考えていた矢先に新型コロナウイルスが発生しました。正直、色々な事を考えさせられました。4月中旬、6月末までの爪木崎駐車場の閉鎖の判断、九十九浜、爪木崎の海水浴場のオープン、水仙祭りの開催等、特に夏の海開きについては相当悩みました。

今年は見送りとのかえもありましたが、須崎区の財政を考えると簡単には見送る訳にもいかずオープンするとの判断に至りました。また、感染対策について市役所に確認するも初めての事なので、具体的かつ有効的な対応策がなく手探りの状態での運営となりました。結果的に集客には影響がなかったものの、クラスターが発生する事もなく、また大きな混乱もなく無事に終了できた事に安心しました。

協議会について触れると、3役を中心に多くの協議会メンバーとは親子ほど年が離れていましたが、若年である私の意見や考えを受け入れてくれました。時には、喧々諤々の議論をすることもありましたが、それでも多くの提案を採用してくれました。そして、一度決定した事案について協議会のメンバーが全員でひとつになって取り組み、時には大変な作業もありましたが、それでも世代間関係なくみんなが汗をかけた事が大きな支えとなりました。協議会メンバー以外にも、駐車場スタッフ、夏季バイト参加者、水仙祭りバイト参加者、爪木崎売店のおぼさん達、実に

多くの方々の力添えがあつて無事に観光部長の任期を終えることができました。退任にあたり改めて感謝申し上げます。

文化厚生部長 小川 正弘  
部員 森 一成  
長谷川孝道

コロナウィルスで須崎地区の文化事業の文化祭や芸能祭、また歴史ある夏祭りも中止になり、国の方針と云えども忸怩たる思いをしています。2年間、仲間の皆さんと協力し財産区の境界見廻り等先人や先輩方々が須崎の財産を守ってくれた事に改めて感謝をしました。須崎文集発刊で、須崎の縁や古い歴史など後世に残したいと思えました。区民の皆様への協力にお礼を申し上げます。

土木建設部長 土屋 光司  
部員 奥田 洋徳  
庄司 智

就任すぐに前年度の台風被害の修復に取り掛かりました。工事費の見積りは高

### 自然のつながり 人のつながり

浜崎小学校長 菊池 正仁

学校の水仙が盛りを過ぎましたが、それに合わせたかのように、学校の斜面の桜が色づき始めました。淡いピンクの中にも力強さを秘めたかのような可憐で鮮やかな色です。前校長から、須崎に関わる桜があるという話を聞いていたので、この桜がそうかと思いつきながら、開花が進むのを毎日楽しみに見ていました。すると、伊豆新聞で「須崎の花さかじいさんの田中さん」の記事が目にとまりました。「須崎乙女桜」の名前は頭の片隅にはあつたのですが、詳しくはなかったため、品種のこと関係者の思いなどがよく分かりました。また、違つた思いで須崎乙女桜を眺めるようになり、本校の用務員の土屋さんから「田中さんのお孫さんが小学校にいますよ。」と教えていただき、よりいっそう親しみの気持ちがあつてきました。

話は少し変わりますが、二十二日に伊豆森林組合の職員をお招きして、五年生が森林教室を学びました。講師を務めた方は若い方ですが、都会から伊豆に来て、志をもつて林業に携わっています。須崎半島は自然林です。今回、植林された森林のこと、林業の持つ大切な役割、チェーンソーの実演などを直に学ぶことができました。豊かな森林は豊かな水を作り出し、栄養豊富な水が海に流れ込み、海の環境を豊かにすることも学びました。海も山も一体になって保たれているこの地区のすばらしさを改めて実感することができました。そんなことがあつて間もなく、区長の土屋磯雄さんがわざわざ学校まで松ぼっくりを届けてくださいました。とても立派



浜崎小学校 全校遊び



5年生 森林教室

な松ぼっくりで、以前もいただいたことがあり、一学期の終わりに一年生の園でクリスマス用のリースを作りました。防風林の役目をもつて植えられたものなのか、などと考えを巡らせた。郷土の歴史への造詣も深い区長さんです。しかし、教えてもらえばかりではだめだろーと思つた。うちに自分なりに少し調べてみることにしました。先ずは「須崎乙女桜」です。しばらくすると不思議な縁を感じました。なんと、「須崎乙女桜」の名づけの親が土屋区長さんだといふことを知り、可憐な桜の花に土屋区長さんの柔和な笑顔が重なり、思わず顔がほころびました。海と山の自然がつながっているように、人と人ともつながっているんだな...と感じました。これからも皆様との縁を大切にしていきたいと思つています。

く、区定例会に計り行政や財産区の応援を頂き、土木関係は全て完了しました。また区民の皆様からの要望は市に出してありますが、中々着工に至らず申し訳なく思つております。引き続き身近な要望は区に出して頂き、新年度役員に取組んで頂く様お願いいたします。2年間ご支援ありがとうございました。

### 2月の捕獲情報

- 1日(月) 御用邸内にて  
はこ鼠 2頭 15キロオス・10キロメス
- 11日(木) 坂家誠屋の上にて  
はこ鼠 1頭 8キロオス
- 12日(金) 法門寺の附近にて  
はこ鼠 1頭 10キロメス
- 15日(月) 権右の貸住宅地にて  
はこ鼠 1頭 10キロオス

「お悔やみ申し上げます」  
《2月》  
12日 小澤 豊美さん 83歳(もんき)

### 須崎で見かける「迷惑な植物」 チガヤ(千草・茅)

チガヤは磯貝を干すのに使う「トバ」の材料として須崎では大切な植物です。しかし農地に入り込むと、地下にしっかりと根を張り、駆除が困難な迷惑植物になります。芽の先端が細く尖り、ケガをする場合もあるのに注意です。

花期は初夏(5・6月)で、葉が伸びないうちに葉の間から花茎を伸ばして、赤褐色の花穂を出します。この花穂を抜き取って噛むと甘みがあります。群生して絹毛のような穂が日光に照らされて輝き、風になびく光景はなかなか美しいと思つています。

名前については「チは千の意味でたくさん生える事から千茅(ちがや)」、「若い穂は雄しべも雌しべも赤く、全体が赤く見えるので血茅」、「味が乳の甘味に似ているので乳茅」などの諸説があるようです。またチガヤには魔除けの力があるといわれ「茅の輪くぐり」の風習がある地方もあります。



そして万葉集にも茅花(チガヤの花)は登場し、古くから人々に親しまれてきました。花言葉は、「親しみ深い」「子供の守護神」など

### 三月の予定行事

- 3日(水) 区協議会決算監査
- 4日(木) 市県民税申告会(市税務課)
- 5日(金) 回覧日、わらいの輪の家
- 6日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 7日(日) 下田市津波避難訓練 中止
- 19日(金) 回覧日
- 20日(土) 【春分の日】カイロ健康施術会(憩の家)
- 21日(日) 須崎財産区協議会議員選挙
- 28日(日) 須崎区協議会総会

### 四月の予定行事

- 2日(金) 回覧日、わらいの輪定例会
- 3日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 8日(木) 花まつり(観音寺、旭洞院)
- 16日(金) 回覧日、カイロ健康施術会
- 29日(木) 【昭和の日】